

現場に出向いて果樹の試験研究結果を報告

2月26日に丹後地域の果樹生産者で組織する丹後果樹研究同志会の総会が行われ、その後の研修会で農協、普及センターの職員と当所の果樹担当研究員が講師として講演を行いました。

研修会は、生産者、関係機関合わせて30名の参加者があり、当所からは2課題、「ブドウの高温障害対策について」と「ナシ品種‘甘太’について」試験研究に取り組んできた内容と結果を報告しました。

参加者は熱心に報告を聞かれている様子で、研修会が終わった後も個別で質問に来られるなど関心の高さもうかがえました。

今後も、研究員が現場に出向いて生産者の方々への発信に取り組んでいきたいと考えています。



研修会で講演する研究員